

科目名	観光学	科目コード	1215	単位数	3
担当者名	千葉 里美	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C.D	実務経験	
ナンバリング	ITo401	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

多くの分野に関連する「観光学」の構造と活動は、大別して「観光と社会の関わり」「人間生活における観光」「観光を支えるシステム」にわけられる。本科目「観光学I」は「観光学II」と連続した科目で設計しており、観光学の基礎と多面性を理論と具体例から理解し、観光学の専門的な学びの土台をつくることを狙いとしています。

そこで、「観光学I」は、前述の「観光と社会の関わり」「人間生活における観光」部分について取り扱います。

● 到達目標

- (1)観光学の「観光と社会の関わり」「人間生活における観光」に関する基礎的な概念、定義、典型的な観光現象の理論について理解できるようなる。
- (2)観光の現場や学術において使われるキーワードについて理解できるようになる。
- (3)現代観光の現状・課題・展望について意見を持つことができるようになる。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス、観光の現在
- 2週目 観光の概念、観光の基本的構造と構成要素
- 3週目 観光の世界史、観光の日本史
- 4週目 観光の諸制度
- 5週目 国際観光政策
- 6週目 4週・5週に関係するゲストスピーカー講話・グループワーク
- 7週目 観光の効果と影響
- 8週目 小テスト
- 9週目 観光と資源、観光と文化
- 10週目 9週に関係するゲストスピーカー講話・グループワーク
- 11週目 観光と経済、観光と地域社会
- 12週目 観光と情報
- 13週目 12週に関係するゲストスピーカー講話・グループワーク
- 14週目 観光と開発・環境
- 15週目 授業内レポート
- 16週目 15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習:次週授業内容に関係するオリジナル資料を用意します。予習学習として事前に目を通し授業に臨んでください。(60分)  
 復習:授業終了後、LMSに授業内容を踏まえた課題を公開します。各自、講義内容を振り返り、指定された方法に提出してください。(60分)

● 成績評価の方法・基準

- 小テスト(30%)
- 各種課題(50%)
- 授業内レポート(20%)

● 履修上の留意点

- ・ 授業に関するお知らせは、LMSから行います。常に確認をしてください。
- ・ 私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
- ・ 授業内で扱う映像資料も期末試験として扱います。
- ・ 授業内でPCを使用したグループワークや個人ワークがあります。PCや筆記用具を必ず持参してください。(ipad等でも可)
- ・ 成績評価は、原則全講義の2/3(30回以上)以上出席した学生のみ対象とする。
- ・ 本科目では、ゲストスピーカーの登壇を用意しています。授業マナーや主体性を持って履修してください。

● 課題に対するフィードバックの方法

各種課題に関しては、解説含めをフィードバックします。  
 期末授業内レポートに関しては、実施後、採点におけるポイントをLMSにて配信します。

● テキスト

特になし。必要に応じて資料を配布する。

● 参考書

- 前田勇編著『新現代観光総論 第3版』(学文社)2,640円
- 岡本伸之編『観光学入門 ポスト・マストツーリズムの観光学』(有斐閣アルマ)2,530円
- 遠藤英樹編著『アフターコロナの観光学』(新曜社)2,860円

● 更新日付

2024/12/26 05:17